

# 千代田区立昌平小学校(1年目)

【校長】 浅岡 寿郎  
【生徒数】 246人  
【学級数】 10学級



次の取組へ

## 【課題・改善】

- ・「心の天気」以外のタブレット活用  
⇒知識・技能の獲得及び習得、思考力・判断力・表現力を育成するために、体育科の各運動領域の特性に応じた端末の利活用を行う。
- ・一日 30 分以上、体を動かす児童が全体の 66%であり、テレビやゲームなどのスクリーンタイムの時間を決めていないという人も同じ割合。  
⇒児童が生き生きと学ぶことができる授業改善と児童自らが体を使った運動や魅力ある遊びを推進する取組が必要である。

## 【実態・課題】

- ・「一日 30 分以上は、外で遊ぶか、運動をしている」の割合が 66%である。  
⇒児童の運動への興味・関心を高める。
- ・投の運動や持久力が減少している。  
⇒投球動作に着目して指導したり、なわとび、持久走など継続して体を動かす運動を積極的に取り入れたりする。
- ・「自分が好き」の割合が 75%である。  
⇒心の健康に焦点化し、心の「安心」「安定」を目指し、主体的に学校生活を送ることで自己肯定感の向上や良好な人間関係を築くことができるようにする。

**目標**・一日一度は外遊びをする。(90%以上)  
・健康について興味・関心をもち自分から心掛けて行動する児童(90%以上)

## 【成果】

### ○一人1台端末の活用

潜在的にもっている児童の不安を取り除くことで、学校生活・体育学習にもすすんで取り組むことができている。

### ○体育科の授業の工夫

児童主体の授業づくりができるようになってきた。保健の学習においては養護教諭との連携によりさらに児童の意欲が高まった。

### ○外部人材の活用

アスリートの生き方や考え方に触れることで、児童の運動意欲の向上や運動への取り組み方が変容し、児童の主体的・協働的な学びにつながった。

## 【取組】

### ○一人1台端末の活用

学習アプリを活用し、児童が登校時の気分を「晴・曇・雨・雷」から選択する。教師は児童一人一人の気持ちの状態を考慮しながら個に応じた指導を行う。

### ○体育科の授業の工夫

児童がすすんで運動できる環境づくりや、幼小連携した運動遊びの開発も行っている。ICT×体験型×養護教諭との連携(T2)を柱にした楽しい保健の授業を目指している。

### ○外部人材の活用

オリンピックやアスリートを招聘し、多様な運動機会を創出している。

## 【取組(詳細)】

### ○一人1台端末の活用

タブレットPCを活用し、学習アプリ「心の天気」に取り組む。現段階では高学年が中心となって取り組んでいるが、全校で取り組むことで児童の心の状態も把握しやすくなると考えている。担任だけでなく、専科教員もその日の児童の心の状態を把握し、個に応じた指導を目指していく。



### ○体育科(運動領域)の授業の工夫

ICT活用・運動機会の確保の2つの視点の基、体育科の授業力向上を目指している。児童が自己評価能力を高めるためにICTを活用したり、児童がすすんで遊んだり、運動したりできるように用具の工夫をしている。幼稚園併設の利点を生かし、研究主題の共有化と協働推進を行っている。幼小連携した幼児期、小学校低学年の運動遊びも開発している。



### ○体育科(保健領域)の授業の工夫

ICT×体験型×養護教諭との連携(T2)を柱に「楽しい保健の授業」を目指している。児童一人一人が体験から獲得した知識を関連付け、実践力へと繋げていく。児童自ら課題を見出し、主体的・対話的に課題解決する子どもの育成を目指していく。



第3学年 健康な生活  
ハンドチェッカーを活用した  
体験型授業

### ○外部人材の活用

今年度はオリンピックやアスリートを招聘し、児童の運動への関心意欲を高めている。カヌー体験教室や着衣泳講座を実施し、今後は防災スポーツ、走・跳・投の力を高めるキッズアスレチックス、コーディネーショントレーニング、地域団体と協働してソフトバレー教室やフットサル教室を実施予定である。

